



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

**【対象となる方】**

2012/12/7～2019/9/30にご同意いただいた方

**【研究課題名】** 神経疾患患者脳脊髄液等の生化学的分析

**【研究責任者】** 一瀬 宏（東京工業大学）

**【本研究の目的及び意義】**

パーキンソン病や一部の遺伝性ジストニア(ドーパ反応性ジストニア)患者の脳では、ドーパミンやドーパミン生合成に関わるビオプテリンなどの分子が減っていることが報告されています。そこで本研究では、患者および対照例の脳脊髄液を分析し、診断や治療薬開発につながる目印(バイオマーカー)の開発を目指します。

**【本研究に提供している試料・情報】**

髄液、DNA

**【問い合わせ窓口】**

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)